

(1) 柴田町の概要

本町の公共下水道事業は、阿武隈川流域関連公共下水道として昭和49年度から工事に着手、昭和60年1月より供用開始し、平成26年度末の下水道普及率は75.3%、整備面積733.1haとなっています。また、公共下水道処理区域における水洗化率は92.1%となっています。現在、土地区画整理を行った新栄地区や本町における防災拠点となり、人口が集中している新大原地区の早期整備を図り、公共下水道による水洗化向上に努めていきます。

合併処理浄化槽事業については、個人設置型による整備を進めており、今後も国と町の補助制度について住民へ周知していきます。

本町の公共下水道への水洗化率は9割をこえており、公共下水道整備を望む声も多い、また人口が集中している地区を重点的に整備していくことから水洗化人口の向上を見込んでおります。

(2) 生活排水処理普及率の推移

生活排水処理普及率：H26 79.8%

H37 98.9%

H47 100.0%

(3) アクションプラン達成のための各事業の取組

1) 下水道事業（阿武隈川下流流域下水道・柴田処理区）

平成37年を整備完了として、計画的な整備に努めます。概要のとおり、本町における人口が集中している箇所の整備となるため、住民周知や埋戻材に改良土を使用するといった耐震化を推進することで効率的かつ適正な整備を推進していきます。

下水道普及率：H26 75.4%

H37 88.4%

H47 88.1%

2) 合併処理浄化槽整備事業

本町では、日常生活に起因する生活型の水質汚濁の原因を解消するため、国と町の補助金を活用していただく個人設置型の浄化槽設置整備事業を推進しております。また、個人設置型浄化槽の適正な管理に関する周知を行い、水環境の保全を図ります。

浄化槽普及率：H26 4.5%

H37 10.5%

H47 11.9%

(4) 住民との協働

環境フェアを合併浄化槽、公共下水道に関する課と連携をとりながら、水洗化に関する啓蒙活動を実施しております。また、公共下水道への水洗化に関するアンケート調査を実施し住民からの要望を頂戴しております。加えて、通年において「町長へのメッセージ」を町のホームページに掲載しており、町全体に関する要望等をメールなどにて頂いております。

このようなイベント等を通じて、多くの住民の方から公共下水道整備についての要望が寄せられてきております。このような声を大切にして公共下水道整備を計画的に推進していきます。

また、公共下水道への水洗化に関する周知についても、工事説明会、受益者負担金説明会、環境フェア、町の広報紙を活用し、整備後の施設を効率的に活用して頂くよう周知しております。